

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人かながわアドバンスサポート

② 施設・事業所情報

名称：岩崎学園新横浜第二保育園	種別：保育所
代表者氏名：蒔田幸子	定員（利用人数）：140名（152名）
所在地：横浜市港北区新横浜3-22-19	
TEL：045-474-5630	ホームページ： https://hoiku.iwasaki.ac.jp/kosodate/isyh2/index.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成24年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人岩崎学園	
職員数	常勤職員： 29名 非常勤職員 17名
専門職員	園長 1名 保育士 7名 主任 1名 保育補助 3名 保育士 24名 栄養士 1名 管理栄養士 1名 調理員 5名 看護師 1名 事務員 1名 事務員 1名
施設・設備の概要	保育室：6 一時保育室：1 調理室：1 園庭：151㎡

③ 理念・基本方針

保育の理念

1. 丈夫な身体と、しなやかな心を持つ子ども
1. 礼儀正しく、思いやりとやさしさに溢れる子ども
1. 未来に向かって、夢を持ち続ける子ども

保育の方針

1. 一人ひとりのありのままの姿を認め共感し、一人ひとりを大切にする保育
2. 日々の挨拶や子どもの発した言葉を大切に、子どもたちが互いに学び、育ち合う力を育む保育
3. 独自の運動プログラムを取り入れ、心身の健康を目指す保育
4. 家庭や地域社会との連携を大切に、子どもの健やかな成長を見守る保育

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

岩崎学園新横浜第二保育園は平成24年4月1日に、JR新幹線、横浜線、横浜市営地下鉄「新横浜駅」より徒歩7分の場所に学校法人岩崎学園が開園した定員140名の大規模保育園です。近隣に平成22年に開園した同じ法人の運営する岩崎学園新横浜保育園があり、本園はこのエリアでは2園目です。本園は鉄骨造地上8階で耐震設計である岩崎学園新横浜3号館の中の1、2、3階を使用しており、上の階は同じ法人の運営する横浜デジタルアーツ専門学校が使用しています。全館延床面積4,519㎡のうち本園は1,238㎡占有し、8階の屋上に151㎡の園庭を持ちます。1階は玄関、EVブース、事務室、放課後児童クラブで使用。2階は0、1、2歳児の各保育室、一時保育室、3階の3、4、5歳児は合同で150㎡という広さをアコーディオンカーテンで仕切ります。また、本園の隣にある岩崎学園新横浜2号館の3階には体育館があります。横浜市は待機児童解消のため定員の119%までは認めているので、令和4年11月現在の園児は152名、受け入れ可能人数は164名です。現在常勤保育士は25名です。非常勤保育士と合わせ横浜市基準を上回る配置です。運営法人である学校法人岩崎学園は横浜市に本部を置き、大学院大学、専門学校7校、保育園3園、放課後児童クラブ3クラブ、幼稚園2園、博物館を運営しております。

【園の特色】

○きれいな環境・余裕のある施設・8階まで吹き抜けの中庭

園は大規模な園で広々とした部屋に空間が広がり、清潔感があります。明るい園内は、木のぬくもりと白を基調とした木目模様の材質でソフトな感じが出ています。3階の直線25mはある廊下は、遊びながら移動をする工夫がされ、子どもたちの活動場になっています。天井も高く、8階まで吹き抜けの中庭もあり開放的な空間を感じさせます。また、近くには川沿いの公園がある他、広めのテラスや隣接している校舎には体育館があるなど、体を動かす環境が整っています。環境、職員数共に、基準以上のものがあり、余裕が感じられる保育園です。

建物の防犯管理は24時間警備がされており、また、24時間換気、共有部分の清掃等は、運営法人の施設管理部が一括管理し、職員2名が1日2回消毒、清掃し、新型コロナウイルス感染症予防につとめています。園の入り口には警備員が立ち、自転車置き場、バギー置き場もあります。

○一時保育の充実

2階にある一時保育室には専任の保育士がおり、1日10名ほどが利用しています。乳児が約9割です。緊急に預けられる保護者の要件は「保護者の傷病・看護・介護・災害・事故・冠婚葬祭等の緊急一時的な場合」や「保護者のリフレッシュ、休養、自己啓発等で一時的に保育が必要になる場合」「就学・就労・職業訓練等家庭における保育が断続的にできない場合」などを満たせば登録できます。現在は、就労での利用者に加え、保護者自身のリフレッシュで利用されている方が増えてきています。朝7時半から夜6時半まで利用できます。土、日、祝祭日は休みです。

最寄りの新横浜駅から近く、設備も整っているので安心して預けられます。被保護世帯、市民税非課税世帯は利用料の減免が受けられます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月22日（契約日）～ 2023年1月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回目（2017年）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

特に評価の高い点

1. 岩崎学園が開発した運動プログラム「スマート・ホット・キッズ」

4、5歳児を対象とした岩崎学園の運動プログラム「スマート・ホット・キッズ」は、運動能力向上、球技、ダンス、器械体操（5歳児のみ）の4つの柱を中心に、4名の専任指導員が、25m走が可能な体育館で週1回60分、ワンクール11週、これを1年間で3回繰り返す、4歳児から2年間続けます。全力疾走したり、後ろ向きに走ったり、様々な動きをすることで神経系が最も発達する4、5歳の幼児期の動きを正しく行うことで、運動神経の発達を促していきます。運動だけでなく、本園の理念である「丈夫な体」づくりと、初めと終わりの挨拶を通じて「礼儀正しさ」を教えるこのプログラムは、子ども達の成長過程においてより効果を発揮するのでは、と期待されています。

2. ICT化が進み、保護者とのやりとりが、迅速に行われる

同運営法人の3保育園の園長、主任保育士、主となる保育士3名が年4回集まる中長期会議において、保育について現在と向こう5年間の計画を議論し、共通化したものを各園で実施するという画期的な取り組みが行われています。中長期会議は2020年に発足し、保育環境・地域子育て支援・ICT化の3チームに分かれ議論を行っており、3保育園の保育において重要な役割を果たしております。ICT化を進める中で、保育専用アプリ・コドモンを導入し、登降園システム、連絡表、おたより等の配信と幅広く活用しております。保育専用アプリ・コドモンの連絡帳では、家庭での様子や食事、就寝、起床時間、体温などアプリに入力して送信します。子どもを送る間に送信でき、アカウントを共有すれば家族間での情報共有ができます。令和4年度から指導計画案、日誌、午睡チェック、個別記録、児童票、障害児支援計画、食育計画、衛生計画など、各種記録でもペーパーレス化が進んでいます。各クラスにPC1台、タブレット端末2台が配置され、常勤保育士、非常勤保育士含め、有効に活用され、事務の負担が軽減されています。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

岩崎学園新横浜第二保育園では、2017年に第三者評価を受審して以来、今回は2回目の受審となります。今回は、新しい評価基準となっており、職員全員で説明を受け、経験年数の高い職員から新任職員までを配置したグループ分けをして、一つひとつ評価項目毎に話し合いを進めていきました。

新型コロナウイルス感染症予防対策も3年目となり、消毒・手洗いの徹底等、感染対策のため、保育園入館制限も行う中での受審となりましたが、直接、施設や保育環境を見ていただいたことで、吹き抜けのテラスや余裕のある環境を特色としてとらえていただけたこと嬉しく思います。

改善を求められる点はないと、高評価をいただいたこと職員一同大変喜んでおります。このことに甘んじることなく、評価いただいた「人権マニュアル」を用いた人権擁護の園内研修も引き続き行い、保育の中でありのままの子どもたちの姿を受け入れ、あたたかな心と眼差しをもって関わってまいります。

子ども主体の保育については、内容評価A-8では、3歳児の週案内容が評価をいただいたことで現在の保育に自信が持てました。今後も園児一人ひとりを大切に、気持ちに寄り添える保育を展開してまいります。

今回の第三者評価受審にあたり、ご尽力いただきました特定非営利活動法人かながわアドバンスサポート様に心より感謝申し上げます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり